

セルフモニタリング報告書(令和元年度分)

令和2年4月30日

施設名 苦小牧市保健センター及び苦小牧市夜間・休日急病センター
 指定管理者名 一般財団法人ハスカッププラザ
 所管課名 健康支援課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画書に伴い管理運営を行っている。	Ⓐ・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	利用率向上を目標とした健康教室、栄養教室等を開催している。	Ⓐ・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。		A・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	苦小牧市と連携し、健康フェスタ、コスプレフェスタ等を実施し苦小牧市民、または苦小牧市民以外にも当施設を積極的に利用してもらい、地域の繋がりを強めている。また、託児、ヘルシー弁当については地場の業者に協力いただき、利用者の満足を得られるように日々努力している。	Ⓐ・B・C・D・E
2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	利用者に満足してもらうよう、利用しやすい環境、利用者様への対応について協議し改善している。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	意見箱を設置し、必要な情報については、各部門同士連携を取り合い把握するようにしている。	Ⓐ・B・C・D・E

利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	改善が可能な部分については改善改良を実施している。	Ⓐ・B・C・D・E
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	空調の調整を行い施設の最大電力消費量を削減することに努めている。またコピー用紙の裏面を再利用し経費節減に努めている。	Ⓐ・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	委託業務に関しては、選定時に見積合わせ等を行い、経費が最小となるように努めている	A・Ⓑ・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	健診者数等の増加を図るために、各企業に営業等を行っている。また、健診者のニーズに答えられるよう、新規健診項目を追加し更なる利用者の増加や収入増加に努めている。	Ⓐ・B・C・D・E
4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	部門内の人員配置について意見交換等を行うことが望ましいが、時期によりパート等の離職が多い時期は人員不足になる場合も想定されるが、現段階では適正に配置されている。	Ⓐ・B・C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	有資格者（看護師・放射線技師・検査技師等）については、学術大会等に積極的に参加し能力向上に努めている。事務職員については接遇研修等を実施し能力向上に努めている。	Ⓐ・B・C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか		A・B・C・D・E

(使用料の減免、還付含む。)		
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	施設内をレベル毎に区分けし入退管理を行い、職員の入室制限実施し漏洩に注意し管理している。	Ⓐ・B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	税理士と業務契約を行い、適正処理を行っている。	Ⓐ・B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	各種点検業者により都度点検済み	Ⓐ・B・C・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	備品保管庫及び書庫等にて保管し対応している	Ⓐ・B・C・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	リスクマネジメント委員会を立ち上げヒヤリハット等、定期的に話し合い改善対策を考えている。	Ⓐ・B・C・D・E
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	協定書等を作成し管理している	Ⓐ・B・C・D・E
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	地元業者等を利用して地域貢献に努めている	Ⓐ・B・C・D・E

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

指定管理者の自己評価(全体を通して)

- ・令和元年度事業計画書に基づき、施設利用者数等は順調に推移している。
- ・施設内の電力容量確認計器を設置し、基準電力を超過しないよう管理している。
- ・施設内の事務所及び検診者が利用しない場所については午前午後に関わらず消灯を実施して節電等、経費削減に積極的に取り組んでいる。
- ・再利用が可能な物（コピー用紙の裏面等）については極力利用する等、経費低減に努めている。
- ・新たな検査項目を増やし、利用者が興味を持つような検査を実施し、収益の増加や検診項目を充実させると共に更なる利用者増加を目的とし運営を行っている。
- ・苫小牧市民が利用しやすいよう教室等の内容について随時検討・協議を行い、施設利用者にとってより良いサービスを提供すると共に自身の健康維持に必要な施設になりえるよう日々努力を行っている。
- ・社会保険労務士と業務委託契約をし、就業規程等の整備や見直しを行い、都度、職員に規程・規約等の説明を実施し不透明な部分が無いよう、働きやすい職場になるように努めている。
- ・税理士と業務委託契約を行い、会計業務及び監査等を委託することにより安定的な資金運用に努めている。
- ・内視鏡装置（カメラ）を増台し、受診者の回転効率を上げ、出来るだけ利用者数の増加に繋がるよう努めている。
- ・新たにセキュリティエリアを設置し、個人情報等の機密書類の情報漏洩を防ぐと共に、入退室管理を行い施設の管理強化に努めた。
- ・リスクマネジメント委員会を設置し、アクシデント、インシデントについて検討を行い、再発防止に努めている。
- ・勤怠管理システムを導入し、スタッフの勤怠を管理し給与計算等と連動し、業務の効率化を図るよう努めている。
- ・令和2年2月に第三者認証評価の訪問調査を受け、7月頃に認定取得となる見込み。